



ちからこぶ

福祉通信「ちからこぶ」2010年3月号 栗田 光恵 書

デイサービス 新春芸能ショー



デイサービスでは、冬期間なかなか外に出る機会が少ない利用者さんに、せめて室内でも楽しんでもらおうと、初めてボランティアさんによる「新春芸能ショー」が1月18日(月)から22日(金)まで、行われました。

町内外の4グループによる、歌・手品・踊りなどが披露され、利用者さんも一緒に口ずさんだり楽しい時間を過ごしました。

この人に注目

栗田 光恵 さん



とらぞう

身も『花房都良蔵』の名称で教室を開いていらっしゃいます。この「都良蔵」の名づけ親は、姑さんの「トラゾウ」が良いとの意見で決まったそうです。

「自分の健康が許す限り、施設訪問をしていきたい。」と話してくださいました。栗田さんは踊りの他にも、書や画も習われていて、家を新築された際「赤富士」を描かれたり、般若心経の書も拝見させていただきました。

これからもなお一層お元気で、ご活躍を期待しております。

今月の表題を書いてくださったのは、デイサービスの新春芸能ショーで踊りを披露してくださった栗田光恵さん(湯ノ原)です。

今回は、『花房あけぼの』として出演していただきました。

「あけぼの」は踊りの師範が集まり活動をされ、町内外の福祉施設に出向いていらっしゃいます。栗田さんは「発表に行くと、皆さんが真剣に見てくれる。発表が終わった時には大きな拍手をしてくれるので、とても嬉しい。利用者の方からは、元気をもらっています。」と話してくださいました。

栗田さんが踊りを始めたきっかけは、仕事場で踊りの披露を見て感動し「あの素敵な踊りを私も習ってみたい!」と義母に話してみたところ、快く賛成してくださったそうです。栗田さんご自身も『花房都良蔵』の名称で教室を開いていらっしゃいます。この「都良蔵」の名づけ親は、姑さんの「トラゾウ」が良いとの意見で決まったそうです。

「自分の健康が許す限り、施設訪問をしていきたい。」と話してくださいました。栗田さんは踊りの他にも、書や画も習われていて、家を新築された際「赤富士」を描かれたり、般若心経の書も拝見させていただきました。

これからもなお一層お元気で、ご活躍を期待しております。



*福祉通信『ちからこぶ』は、再生紙を使用しています。

